

自然と健康を科学する

第79期(中間期) 株主通信

2014年4月1日 - 2014年9月30日

株主の皆様へ P1

事業概況 P2

特集:安全な生薬の安定確保 P4

連結財務諸表 P9

会社の概要・株式の状況 P10



長期経営ビジョン

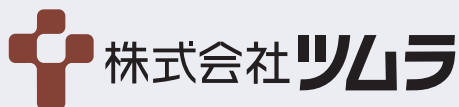
～2021年ビジョン～

“KAMPO”で人々の健康に寄与する
価値創造企業を目指して

“漢方”のツムラ

“人”のツムラ

“グローバル・ニッチ”のTSUMURA



証券コード：4540

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第79期(中間期)の株主通信をお届けし、事業の概況および決算の状況などをご報告申し上げます。

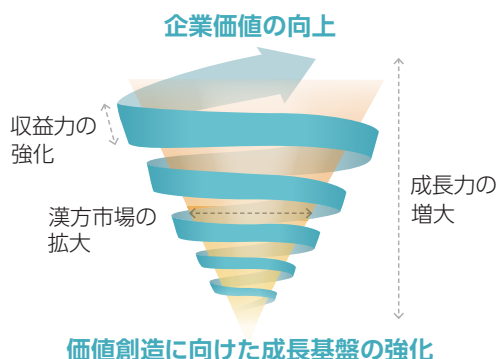
株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2014年12月

代表取締役社長

加藤 照和

第1期中期経営計画(2012-2015年度)



戦略課題 ▶ 漢方市場の拡大

日本国内における
医療用漢方製剤市場の拡大

戦略課題 ▶ 収益力の強化

新生産技術の導入等による
「コスト構造改革」の実現

戦略課題 ▶ 財務・資本政策

財務・資本政策の遂行による
企業価値の拡大

株主還元方針

- ◆ “漢方”が持続的に発展・成長するための事業投資を通じて、企業価値の向上を図る
- ◆ 中長期の利益水準やキャッシュ・フロー等の状況を勘案し、安定的な配当を実施

経営方針

当社グループは、追い求めていくべき不変の基本的価値観である「自然と健康を科学する」という経営理念と、社会から必要とされ存在し続ける目的である「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献します」という企業使命を基本的な理念と位置づけ、理念に基づく経営を実践すべく、諸施策に取り組んでまいります。

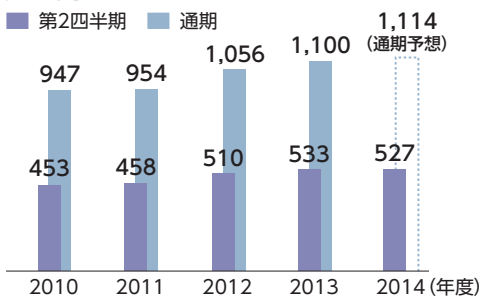
業績の概要

●連結業績

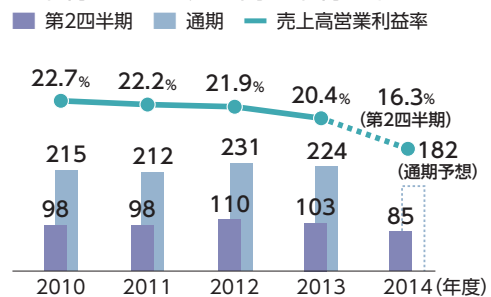
当第2四半期連結累計期間(2014年4月1日から2014年9月30日まで)の売上高は、前年同期に比べ1.3%減の527億1千万円となりました。本年4月に実施された薬価改定や消費税率改定の影響とともに、前年同期には為替変動による連結決算上の内部取引差額9億3千8百万円を売上高に計上していたことの影響があり、僅かながら減収となりました。

利益につきましては、営業利益85億8千5百万円(前年同期比17.2%減)、経常利益91億9千1百万円(前年同期比16.2%減)、四半期純利益61億2千8百万円(前年同期比13.3%減)となりました。売上原価率は、薬価改定、一部の原料生薬の価格上昇による影響等により前年同期に比べ3.2ポイント上昇し、経費の削減等に努めましたが、営業利益率は16.3%(前年同期比3.1ポイント低下)となりました。

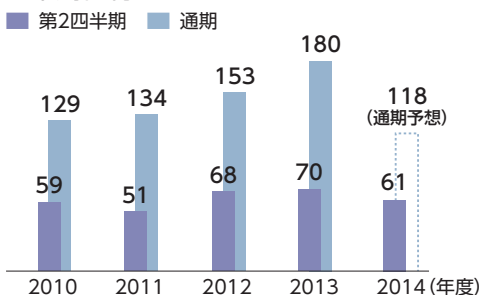
売上高(億円)



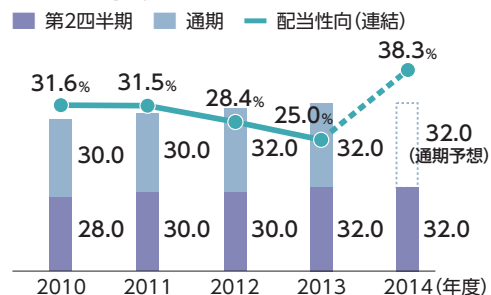
営業利益(億円)／売上高営業利益率



四半期純利益(億円)



配当金の推移(円)



医療用漢方製剤の概況

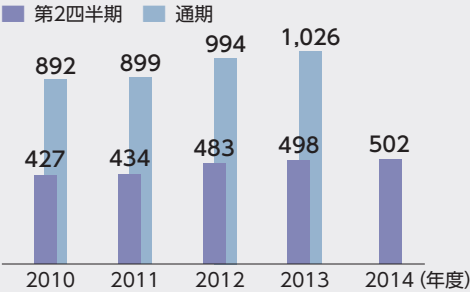
医療用漢方製剤 売上高上位10処方

(単位:百万円)

処方名	主に使われている疾患・症状	前第2四半期 (2013年度)	当第2四半期 (2014年度)	増減額	前年同期比
1. 大建中湯 (だいけんちゅうとう)	イレウス(腸管麻痺)等に伴う腹痛、 腹部膨満感 など	4,811	4,883	71	1.5%
2. 補中益気湯 (ほちゅうえききとう)	病後の体力増強、食欲不振 など	3,551	3,534	△ 16	△ 0.5%
3. 抑肝散 (よくかんさん)	認知症の行動・心理症状 など	3,267	3,376	108	3.3%
4. 六君子湯 (りっくんしとう)	胃炎、食欲不振、機能性の胃腸症 など	3,258	3,247	△ 10	△ 0.3%
5. 芍薬甘草湯 (しゃくやくかんぞうとう)	筋肉のけいれんを伴う痛み (こむらがえり など)	2,127	2,214	86	4.1%
6. 加味逍遙散 (かみしょうようさん)	冷え症、月経不順、更年期障害 など	2,126	2,053	△ 72	△ 3.4%
7. 牛車腎気丸 (ごしゃじんきがん)	下肢痛、腰痛、しびれ(糖尿病性神経障害、 抗がん剤の副作用緩和 等)、排尿困難 など	1,900	1,873	△ 27	△ 1.4%
8. 麦門冬湯 (ばくもんどうとう)	痰の切れにくい咳、気管支炎、気管支喘息	1,733	1,768	35	2.0%
9. 柴苓湯 (さいれいとう)	急性胃腸炎、むくみ など	1,726	1,700	△ 26	△ 1.5%
10. 五苓散 (ごれいさん)	浮腫、下痢、悪心、嘔吐、めまい、頭痛 など	1,212	1,322	109	9.0%
医療用漢方製剤129処方合計		49,857	50,236	378	0.8%



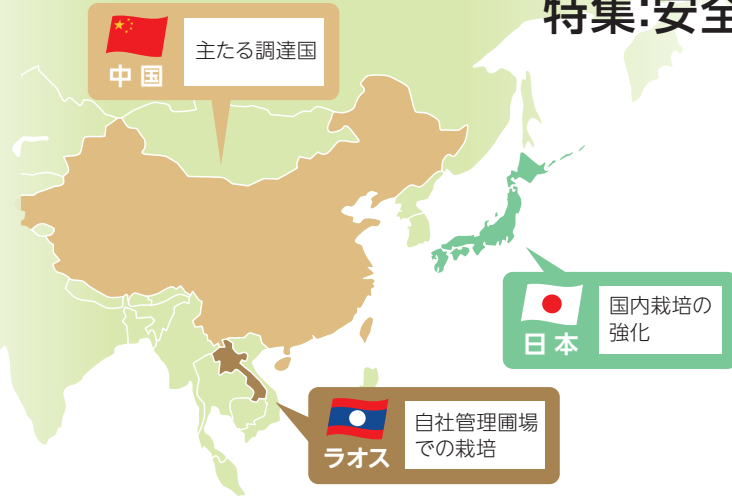
医療用漢方製剤129処方売上高(億円)



ワンポイント解説

医療用漢方製剤の売上高は、129処方中73処方が前年同期を上回り、前年同期比0.8%伸長しました。営業施策では、医師への訪問・面談活動の強化に加え、漢方医学セミナー、医療機関説明会および研修医対象勉強会等の積極的な開催を通じて、漢方医学および漢方製剤に関する情報提供の拡充を図っております。

特集:安全な生薬の安定確保



当社は、漢方製剤の原料となる生薬を中国から約80%、日本で約15%、ラオスなどから約5%調達しております。各国との信頼関係が「安全な生薬の安定確保」につながっており、今回はそれぞれの地域や農家との関わりを中心に生薬調達の現況をまとめました。

中国

生薬事業を通じた中国との歴史 ～持続的な生薬資源保護と漢方医学発展への貢献～

当社は1980年代初期から、安全・安心な原料生薬を安定確保するため、中国の国営企業と長期契約を締結し、原料生薬の直接取引を開始しました。また、生薬加工・漢方製剤生産の合併会社を設立し、長年にわたる多くの中国研究機関や大学と生薬に関する共同研究を行い、大きな研究成果をあげてきました。

中国での取り組み年表

- | | |
|---------------|--|
| 1970年代 | 漢方を通じての日中友好架け橋の構築 |
| 1972年 | 日中国交正常化 |
| 1978年 | 津村重舎会長訪中 |
| 1980年代 | 中国中医科学院と「日中共同合作研究協議書」に調印 |
| 1981年～2001年 | 中国中医科学院と「日中共同合作研究協議書」に調印、科学研究基金と設備を提供 |
| 1984年 | 中国医薬健康産業股份有限公司との原料生薬直接取引の開始 |
| 1990年代 | 中国政府と業界との友好関係を深め、合併事業を推進 |
| 1991年 | 深圳津村薬業有限公司設立 |
| 2000年代 | 中国生薬資源の保護と原料生薬の品質と安全性の向上に寄与生薬トレーサビリティの取り組みを開始 |
| 2001年 | 上海津村製薬有限公司設立 |
| 2001年～2008年 | 中国医薬健康産業股份有限公司と北京中医薬大学3者で、「高品質甘草麻黄の栽培研究に関する合作協議書」を締結 |
| 2010年代 | 「“KAMPO”で人々の健康に寄与する価値創造企業を目指して」中国との確固たる互惠友好関係の構築へ |
| 2011年～2016年 | 中国中医科学院中薬資源センターと「蒼朮栽培技術の確立および病虫害防除に関する共同研究契約」を締結 |



津村重舎会長訪中(1978年)

■日本

生薬栽培を通じて

原料生薬の栽培を通じて、事業への価値だけではなく、社会への価値も創出しています。

●生薬生産事業(6次産業化)の推進

当社が実施する栽培契約は、農林水産省が推進する6次産業化を見据え、原料生薬の栽培・収穫だけではなく、加工・販売を含めた一元的な内容で締結をしています。これにより生産者は3つの産業の利益を得る6次産業の経営モデルを実践しています。

また、契約栽培に基づき収穫した生薬は全量買い取りを行うため、生産者の計画的な安定収入につながることでメリットとなり、従来の農業と原料生薬の栽培を並行して行う若手の生産者も増えてきました。

当社と契約する生産団体は個々の生産者(農家)をとりまとめ、指定する栽培方法や技術、使用する農薬や加工方法などを、効率的に周知徹底する機能を備えています。

契約栽培団体主要6拠点を中心に、ツムラ生薬GACP*1で管理する基準・規則に則り生薬栽培を実施することで、医薬品の原料としての条件を満たし、安全な生薬を安定確保しています。

*1 GACP: Good Agricultural and Collection Practice

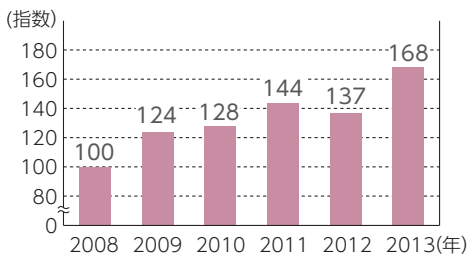
●国内栽培の拡大

当社では、国内6ヵ所の契約栽培拠点(北海道・岩手・群馬・和歌山・高知・熊本)から生薬を調達しています。それらの拠点を中心に、栽培契約を結ぶ生産者の数は年々増加しています。

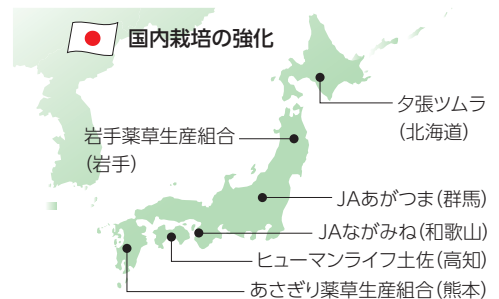
その背景には、漢方製剤の需要増に伴う原料生薬の栽培地拡大があります。原料生薬の栽培に携わる生産者の方々のご協力があればこそ、漢方製剤の安定供給が実現しています。

■国内生産者登録件数推移

(2008年を100とした指数で表示)



■国内契約栽培団体主要6拠点



●夕張ツムラ

夕張ツムラは、北海道における生薬の一貫生産拠点として、栽培指導・調達・調製加工・保管を担い、自社管理圃場での生薬栽培・栽培効率化の研究、種苗生産も行っています。

現在の北海道の生産品目は川芎、蘇葉、当帰、附子など数種類あり、年間約600tを調達しています。将来的には北海道全域で栽培面積約1,000ha、生産量約2,000tに拡大する計画です。

栽培から調製加工・保管までの一貫した生産拠点として、夕張ツムラの機能を強化するため、既存の建屋(7,850㎡)の隣に9,389㎡の倉庫・製造棟・事務棟を増設しています(2015年7月竣工予定)。現在、北海道で調達した生薬の選別(異物・不良品除去)は石岡センターで行っていますが、竣工後は夕張ツムラで生薬の全数検品を実施するため、道内産地への品質改善指導が迅速に行えるようになります。

● 岩手薬草生産組合(岩手)

岩手薬草生産組合は1975年に設立され、来年で40周年を迎えます。

当社が契約する栽培団体主要6拠点の中で最も長く取引をしている拠点であり、また、生産栽培品目・研究栽培品目ともに最も多く取り扱っている拠点です。

Voice



岩手薬草生産組合
組合長
岩井 マイ子さん

女性の組合長が活躍 ～安定収入は大きなメリット～

岩手薬草生産組合は、生薬栽培に熱心な生産者約220人の集まりです。

生薬栽培は難しい点もありますが、契約栽培は品質が基準となるレベルに達していればツムラさんに購入してもらえ、安定収入が期待できます。農家にとっては大きなメリットです。各生産者はツムラさんの指導のもと、栽培方法を工夫しながら生薬を作っています。

漢方薬の原料として良い生薬を多く収穫できた時は、人のためになっていると感じることができ、とても達成感があります。自分たちが育てた生薬で作られる漢方薬で、いつまでも元気でいたいですね。

Voice



岩手薬草生産組合
かたひら
帷子さんご夫妻

高齢者の働く力と技術の伝承 ～若手生産者とともに～

私たちは蘇葉を作っています。種を播き、発芽させるのが難しいので、発芽するようにさまざまな工夫をしています。発芽するまでは、土壌の状況を毎日確認するなど管理が大変ですが、体に負担が大きな作業は、組合の若手メンバーが手伝ってくれます。私たちのような高齢者でも働くことができるのが、生薬栽培のいいところですね。

Voice



岩手薬草生産組合
ふがね しゅういち
府金 秀一さん

若手生産者の活躍 ～新しい1次産業の考え方～

同級生が生薬を栽培していたことがきっかけで組合を知り、始めました。良い生薬を生産するための改善のアイデアを考えるのが面白く、やりがいがあります。葉タバコの栽培もしているので、葉タバコで培った知識や経験もかなり役立っています。長期的には、経営として成り立つ農業を目指していきたいですね。そのために目標時給を決め、畑にいる時間は時給で働いているという意識で頑張っています。

■ ラオス

ラオスにおける取り組み

当社は、漢方製剤の原料生薬のトレーサビリティ体制を構築しています。2005年以前に東南アジアなどから調達する生薬の一部に生産記録の収集ができない品目があり、生薬トレーサビリティ体制の強化などを目的に、2010年にラオスに現地法人「LAO TSUMURA CO., LTD. (以下、ラオツムラ)」を設立しました。

ラオス進出の目的

- 生薬トレーサビリティ体制の強化
- 漢方需要増に伴う栽培地拡大
- 自社管理圃場における品質・コスト管理と安定供給
- 大規模機械化栽培



ラオスでの取り組み年表

- 2004年** ● ラオスでの当社使用生薬の栽培可能性に関する現地調査実施
- 2005年** ● ラオスの気候・風土への適合性を調査するため、サラワン県ラオンガム郡テーメーバング試験場(1ha)などで複数の生薬の栽培試験を開始
- 2006年** ● ラオスで生育が認められた生薬で、比較的使用量の多い品目を選定し栽培地を拡大(桂皮栽培開始)
- 2008年** ● 計画投資省と薬用植物栽培プロジェクトにおける土地調査ならびに可能性調査に関する覚書を締結、1,000haのプロジェクトエリア設定を目標とする
- 2009年** ● ポーケム圃場での不発弾探査開始(約150ha)
- 2010年** ● 計画投資省とプロジェクト開発契約を締結、ラオツムラ設立
- 2011年** ● ポーケムツムラ友好中学校竣工
- ラオツムラ現本社・加工場竣工
- 生薬栽培事業のラオス現地貢献が認められODAによる不発弾探査と除去の協力を受ける
- 官民連携案件としての初の取り組み**
日本政府が推進する「成長加速化のための官民パートナーシップ」の官民連携案件に、サラワン県ラオンガム郡における栽培圃場の安全確保を目的とした不発弾探査と除去を提案し、官民一体で取り組みを実施することが同提案制度開始以来、初めて認められました
- 2013年** ● 本社の加工場を拡大し、定温倉庫を新設
- 2014年** ● ODAによる不発弾探査と除去が終了(合計約600ha)桂皮の初収穫



ボーケム圃場に定植した桂皮(定植1年目)



プロジェクト開発契約調印式



ラオス国防省による不発弾探査



ボーケムツムラ友好中学校



成長した桂皮(ボーケム圃場)

● ラオツムラ、桂皮初収穫祭 ケイヒ

2014年10月23日に、ラオツムラが桂皮の初収穫祭を行いました。

ラオスでは節目の時に行われる神事「バーシー※」が執り行われ、礼拝者が行う儀式を列席者全員で見守りました。桂皮の収穫は加藤社長をはじめ、岩澤取締役、ポーケム村の村長、神保社長(ラオツムラ)がノコギリで木に線を入れ、それぞれが1枚ずつ丁寧に剥がして収穫の喜びを分かち合いました。

※バーシー: 誕生・結婚・家の新築など、人生の節目に行われるラオスの神事。
肩にかけているのは、パービエンという肩掛け布で神事の際に使われています。



収穫した桂皮を持つ加藤社長とポーケム村村長のソムキットさん

ポーケム農場で行われた収穫祭



Voice 中学校設立は教育環境の改善に大きく貢献



ポーケムツムラ友好中学校
校長
ソムプー・インティサンさん

設立当時は生徒が69人だけでしたが、2014年7月現在、199人の生徒に13人の教員が在籍しています。

この村に中学ができるまでは11km離れた中学しかなかったため、中学進学を断念させる親もいました。今では約50人の生徒が7km離れた別の村から通ってくるなど、村の教育環境も大きく変わりました。

9月には98人の新1年生が入るため教室が不足、増築を行いました。今後は体験授業の一環として、ラオツムラの農場で農業体験をすることも検討しています。中学を卒業した生徒が、いずれはラオツムラで働いてくれたらと願っています。

Voice 生薬栽培のやりがいと誇り



ポーケム農場
農民リーダー
カンパン・ルアンマリットさん

私はラオツムラ設立前の2007年から生薬栽培に関わっています。普段はコーヒー栽培をし、自分の畑が休みの日にポーケム農場で働いています。

コーヒーの収穫は毎年3～4月で、収入はその時だけです。今はラオツムラの仕事があるおかげで、決まった収入が得られ生活が安定しました。

生薬栽培の難しさは雨季(5月～9月)の雑草取りをローテーションしながら行うため、ほぼ毎日作業に追われることです。人手がいるため村人の確保も大変です。私は決めた生産目標を達成できた時が一番うれしいです。

また、自分たちが育てた生薬が、病気で苦しむ日本の患者様の役に立っていることを誇りに思っています。

Voice ポーケム村とラオツムラの発展を願って



ポーケム村
村長
ソムキット・バイシャウォンさん

ツムラが2007年にポーケムで生薬の栽培試験を始めた当時、「説明どおりに事業が行われるのか」「土地だけを取られて、村は潤わないんじゃないか」と、村人の多くは不安を抱えていました。しかし、進出してくれたおかげで、村人の生活は大きく変わりました。中学校建設や村へ通じる橋の整備など、目に見えて変わったものもありますが、村人の収入が安定したことが最も大きな変化だと思っています。現在では他の地域から出稼ぎに来る人が増えるなど、雇用環境も大きく変わりました。10年や20年ではなく100年以上にわたり、村とラオツムラが互いに発展していくことを願っています。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2014年3月31日現在)	当第2四半期末 (2014年9月30日現在)	増減
資産の部			
流動資産	108,692	122,506	13,814
固定資産	78,931	79,521	589
有形固定資産	57,148	56,445	△ 702
無形固定資産	210	215	4
投資その他の資産	21,572	22,860	1,287
資産合計	187,623	202,027	14,403
負債の部			
流動負債	45,179	40,956	△ 4,222
固定負債	9,126	23,624	14,498
負債合計	54,305	64,581	10,275
純資産の部			
株主資本	124,974	129,662	4,687
その他の包括利益累計額	6,212	5,748	△ 463
少数株主持分	2,131	2,035	△ 95
純資産合計	133,318	137,446	4,128
負債純資産合計	187,623	202,027	14,403

Point
1

固定負債

今後の長期的な設備投資等に対応するため、2014年6月に金融機関から150億円を調達し、長期借入金が150億円増加しました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	増減
売上高	53,398	52,710	△ 687
売上原価	18,595	20,049	1,453
売上総利益	34,802	32,661	△ 2,141
販売費及び一般管理費	24,435	24,075	△ 360
営業利益	10,366	8,585	△ 1,781
営業外収益	764	747	△ 16
営業外費用	165	140	△ 24
経常利益	10,965	9,191	△ 1,774
特別利益	2	65	62
特別損失	38	124	85
税金等調整前四半期純利益	10,930	9,132	△ 1,797
法人税等	3,787	2,945	△ 842
少数株主利益	72	58	△ 13
四半期純利益	7,069	6,128	△ 941

Point
2

売上原価

売上原価率は前年同期比3.2pt上昇。内訳は、生薬関係(価格上昇、為替影響)1.4pt、薬価改定1.2pt、その他0.6pt。計画に対しては0.8pt下回りました。

Point
3

販売費及び一般管理費

経費の削減等により前年同期比3.6億円減少。計画に対しては11.2億円下回りました。(販管費率▲1.3pt)

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前第2四半期 (自 2013年4月1日 至 2013年9月30日)	当第2四半期 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,942	1,891
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,356	△ 5,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,298	12,683
現金及び現金同等物に係る換算差額	712	△ 664
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 3,000	8,519
現金及び現金同等物の期首残高	13,762	14,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,762	22,937

会社の概要・株式の状況 (2014年9月30日現在)

会社概要

本社 東京都港区赤坂二丁目17番11号
創業 1893年(明治26年)4月10日
設立 1936年(昭和11年)4月25日
資本金 194.87億円
従業員数 (単体) 2,377名 (就業人員数)
(連結) 2,925名 (就業人員数)

取締役および監査役の状況

地 位	氏 名	委嘱・担当部門
取締役社長 (代表取締役)	加藤 照和	渉外調査室、監査室担当
専務取締役 執行役員	杉田 亨	購買部、物流企画部、 情報技術部担当
常務取締役 執行役員	高崎 隆次	製品戦略本部長
取締役 執行役員	竹田 秀一	信頼性保証本部長
取締役 執行役員	中山 照也	コンプライアンス推進室長 兼 人事部担当
取締役 執行役員	藤 康 範	内部統制室長 兼 経営企画室、 コーポレートコミュニケーション室、経理部担当
取締役 執行役員	岩澤 強	生薬本部長
社外取締役	杉本 茂	公認会計士、不動産鑑定士、税理士
常勤監査役	森 善 樹	
常勤監査役	湊 幸 男	
社外監査役	湯佐 富治	公認会計士
社外監査役	野田 聖子	弁護士

執行役員の状況

地 位	氏 名	委嘱・担当部門
執行役員	村田 亮市	医薬営業本部長
執行役員	戸田 光胤	生薬本部 副本部長 兼 中国統括室長、上海事務所長
執行役員	中田 充	秘書室長 兼 総務部担当
執行役員	碓井 公利	生産本部長

連結子会社

会社名	主要な事業内容
株式会社ロジテムツムラ	運送および保管
深圳津村薬業有限公司	原料生薬の調達・選別加工および保管
上海津村製薬有限公司	漢方エキスパウダーの製造および販売
TSUMURA USA, INC.	米国における医薬品開発

※株式会社クリエイティブサービスについては、平成26年8月1日付けで、当社が保有していた全株式を譲渡したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

株式の状況

- 発行可能株式総数
250,000,000株
- 発行済株式の総数
70,771,662株
(自己株式 246,783株を含む)

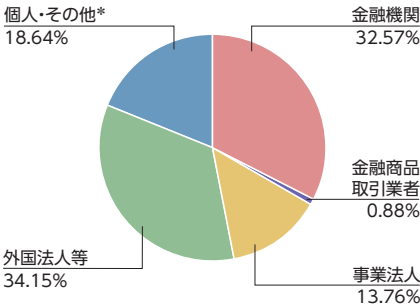
- 株主数
17,543名

大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	3,795	5.38
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	3,030	4.30
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,197	3.12
ツムラグループ従業員持株会	1,955	2.77
ジェーピー モルガン チェース バンク 385632	1,807	2.56
サジャップ	1,754	2.49
ビーエヌワイエムエル ノントリーティー アカウント	1,581	2.24
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口9)	1,532	2.17
第一三共株式会社	1,525	2.16
全国共済農業協同組合連合会	1,503	2.13

(注)持株比率は自己株式(246,783株)を控除して計算しております。

《所有者別株式数分布状況》



*「個人・その他」には、自己株式246,783株を含めております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料) 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝祭日等を除く)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主様アンケートご協力のお願い

当社は、株主の皆様のご意見を伺い、今後のIR活動に活かしていきたいと考えております。つきましては、同封のがき、または、ツムラホームページからアンケートにご協力いただきますようお願いいたします。

ツムラホームページ <http://www.tsumura.co.jp/>



コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループ
〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号
TEL (03) 6361-7101



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。